

和水町 公共施設個別施設計画



熊本県 和水町

令和 3 年 2 月(令和 5 年 3 月改訂)

目次

第1章	計画の概要	2
第1節	背景・目的	2
第2節	計画の位置づけ	3
第3節	計画期間	3
第4節	対象施設	4
第2章	施設の維持管理に関する方針	5
第1節	施設整備・維持管理の基本方針	5
第2節	施設長寿命化の基本方針	6
第3節	対策の優先順位の考え方	11
第4節	個別方針案の設定	13
第3章	個別施設方針	14
第1節	学校教育系施設	14
第2節	町民文化系施設	16
第3節	社会教育系施設	18
第4節	スポーツ施設	19
第5節	レクリエーション・観光施設	21
第6節	産業系施設	23
第7節	子育て支援施設	24
第8節	保健・福祉施設	26
第9節	医療施設	28
第10節	行政系施設	29
第11節	供給処理施設	30
第12節	下水道施設	32
第13節	公園	32
第14節	その他	34
第4章	更新費用推計	38
第1節	今後40年間の更新費用推計	38
第2節	計画対象期間の更新費用	39
第5章	計画のフォローアップ	41

第1章 計画の概要

第1節 背景・目的

わが国においては、高度経済成長期に、多くの公共施設の整備が進められてきました。その当時から建築された公共施設の建築年数は、30年以上経過し、その多くが耐用年数を超過した状況となっています。そのため、このような公共施設は、今後、大規模改修や修繕、建替えが必要となっています。

地方公共団体においても、少子・高齢社会の進展、高度情報化時代の到来など、社会経済情勢が急速に変化をしていく中で、高度化・多様化する住民ニーズに対応し、住民の皆様に満足していただける行政サービスを提供していくことが求められており、そのために、財政基盤の充実が喫緊の課題となっています。

本町は、2006年3月の合併後、用途目的の重複した施設や老朽化した施設を多く抱えています。また、合併算定替による交付税が2016年度から段階的に減額されてきた今日、従来と同様の公共施設の維持管理や改修・改築等を続けていくと、厳しい財政状況を逼迫させることになり、他の行政サービスにも影響を及ぼすことが懸念されます。

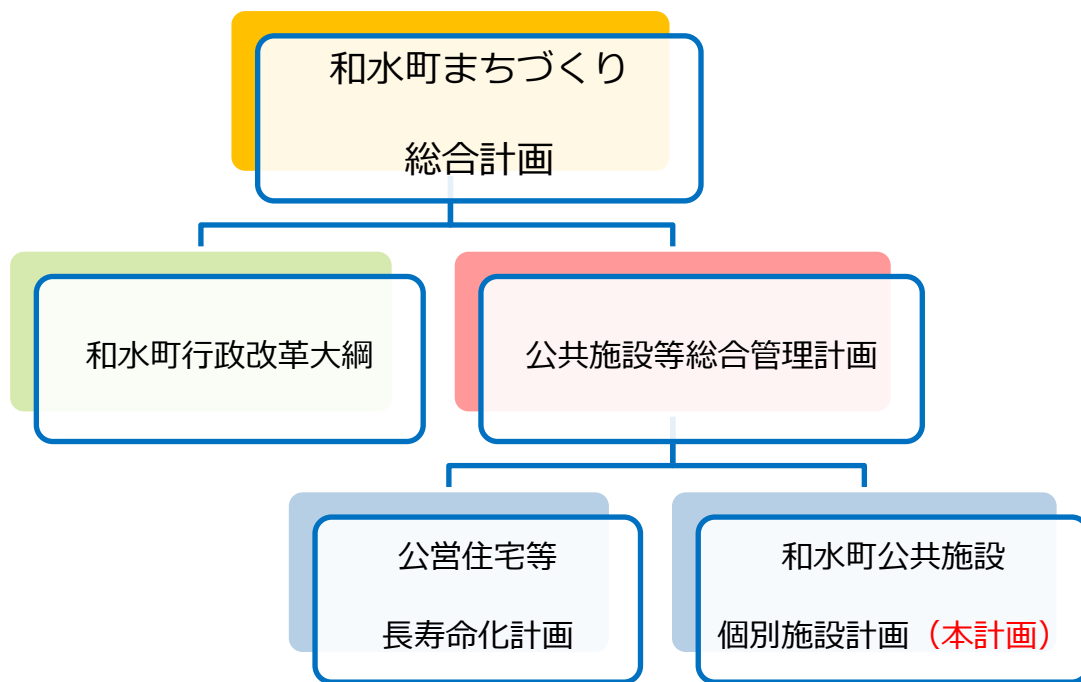
このような状況下で、国からも公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するため、公共施設等総合管理計画（以下、「総合管理計画」という。）の策定を要請されることとなり、本町においては、2015年度に「和水町公共施設等総合管理計画」を策定しました。

総合管理計画では、町全体の公共施設の総合的な状況把握、方針の策定を行いましたが、さらに個別の施設毎の実行計画を策定することが求められており、具体的な対策内容や実施時期、対策費用を考える必要があります。このため、本町の関連計画と整合を図りながら、施設の劣化状況を踏まえ、「和水町公共施設個別施設計画」を策定します。

第2節 計画の位置づけ

本計画は、総合管理計画の下位計画として、総合管理計画に掲げる建物施設のうち公営住宅を除く施設に対し、維持管理方針を定めるとともに、施設ごとの更新・改修等の対策内容や実施時期、対策費用を示します。

図 1-1. 計画の位置づけ



第3節 計画期間

本計画は、総合管理計画の第1期（2015～2023年度）と第2期（2024～2035年度）をまたぐ2020年度から2029年度の10年間とし、総合管理計画と今後の個別施設計画の見直しを効率的に行います。また、社会情勢の変化や事業の進捗状況等に応じて、計画期間中においても見直しを行うものとしします。

第4節 対象施設

総合管理計画に掲げる建物施設のうち公営住宅を除く施設を本計画の対象とします。個別の施設名称は、第3章の（1）基本情報にて記載します。

表 1-1. 対象施設の分類

大分類	中分類	主な施設
学校教育系施設	学校	小学校・中学校
	その他教育施設	学校給食共同調理場
町民文化系施設	集会施設	集会場・公民館、 コミュニティーセンター等
社会教育系施設	博物館等	歴史資料館・伝統工芸館
スポーツ施設	スポーツ施設	体育館・グラウンド附属施設等
レクリエーション・ 観光施設	レクリエーション施設・ 観光施設	温泉、物産館、 キャンプ場、観光センター
産業系施設	農業施設	排水機場
子育て支援施設	幼稚園・保育所・こども園	保育所、学童施設
保健・福祉施設	高齢福祉施設	介護施設・福祉センター
	保健施設	保健センター
医療施設	医療施設	町立病院
行政系施設	庁舎等	町役場・支所
供給処理施設	供給処理施設	簡易水道施設
下水道施設	下水道施設	浄化センター
公園	公園	公園トイレ
その他	その他	斎場、教職員住宅、廃校舎等

第2章 施設の維持管理に関する方針

第1節 施設整備・維持管理の基本方針

2015年度に策定した「総合管理計画」において、施設の老朽化や将来的な財源の不足等の課題に対処しつつ、住民ニーズに応えた安全・機能を確認していくため、建築系公共施設に関して以下の目標を掲げています。

(1) 必要性を検証する

- 公共施設ごとに、施設の目的や位置付けなどを確認し、今後も町がその施設を保有し、サービスを提供し続ける必要性について再検証する。

(2) 機能性の向上を検討する

- 施設の整備や配置を進めていくにあたり、行政分野の枠を超えた行政サービスについて検討する。

(3) 公平性を確保する

- 施設の利用状況や配置状況などを基に、利用機会の公平性を確保しながら、使用料等の見直しを行う。

(4) 新規整備は極力控える

- 長寿命化、維持補修などを適正に行い、既存施設の有効活用を図り、新規整備は極力控える。
- 新規整備が必要な場合は、将来を見据えた費用対効果、人口比率の変化を考慮し施設の規模などを検討する。そのうえで、本計画の上位計画である「和水町まちづくり総合計画」に位置付けたうえで行う。

(5) 施設を更新（建替え）する場合は複合施設を検討する

- 施設の統合・整理や遊休施設の活用、施設の複合化等によって、機能を維持しつつ、施設総量を縮減する。
- 複合施設においては、管理・運営についても一元化・効率化を図る。施設の複合化により空いた施設や土地は、活用・処分を検討する。

(6) 施設総量（総床面積）を縮減する

- 用途が重複している施設、分野を超えて重複している機能（会議室、ホール等）については、統合・整理を検討する。
- 稼働率の低い施設は運営改善を徹底し、なお稼働率が低い場合は、統合・整理を検討する。

(7) 施設コストの維持管理、運営コストを縮減する

- P P P / P F I など、民間活力を活用し、機能を維持・向上させつつ、改修・更新コスト及び管理運営コストを縮減する。

(8) 39 年間で更新費用を 40% 圧縮する

- 総管理計画における公共施設等の更新費用推計結果では、過去 5 年の投資的経費と比較すると年平均 6.6 億円の不足が発生する。(1) ～ (7) の取組みを実施し、更新費用を今後 39 年間で、40% 圧縮する。

第 2 節 施設長寿命化の基本方針

第 1 項 目標耐用年数の設定

本町では、鉄筋コンクリート造の公共建築物の目標耐用年数を、「建築物の耐久計画に関する考え方（日本建築学会）」を参考に、80 年（普通の品質の場合の上限値）と設定します。

また、「予防保全」の考え方を取り入れた長寿命化を図っていくためには、建物を構成する主要な部位別に改修周期を設定する必要があることから、「建築物のライフサイクルコスト（一般財団法人 建築保全センター）」の標準耐用年数を参考に、表 2-3 のとおり部位別改修周期を設定します。

表 2-1. 建築物全体の望ましい目標耐用年数の級

用途 構造 種別	鉄筋コンクリート造・ 鉄骨鉄筋コンクリート造		鉄骨造			ブロック造 れんが造	木造
			重量鉄骨		軽量 鉄骨		
	高品質 の場合	普通の 品質 の場合	高品質 の場合	普通の 品質 の場合			
学校 官庁	Y。100 以上	Y。60 以上	Y。100 以上	Y。60 以上	Y。40 以上	Y。60 以上	Y。60 以上
住宅 事務所 病院	Y。100 以上	Y。60 以上	Y。100 以上	Y。60 以上	Y。40 以上	Y。60 以上	Y。40 以上
店舗 旅館 ホテル	Y。100 以上	Y。60 以上	Y。100 以上	Y。60 以上	Y。40 以上	Y。60 以上	Y。40 以上
工場	Y。40 以上	Y。25 以上	Y。40 以上	Y。25 以上	Y。25 以上	Y。25 以上	Y。25 以上

※資料：建築物の耐久計画に関する考え方（日本建築学会）

表 2-2. 目標耐用年数の級の区分の例

	目標耐用年数		
	代表値	範囲	下限値
Y。150	150 年	120～200 年	120 年
Y。100	100 年	80～100 年	80 年
Y。60	60 年	50～80 年	50 年
Y。40	40 年	30～50 年	30 年
Y。25	25 年	20～30 年	20 年

※資料：建築物の耐久計画に関する考え方（日本建築学会）

表 2-3. 部位別改修周期

部位項目		標準耐用 年数
建築	外壁	20～30 年
	屋上防水	20～30 年
電気	受変電設備	30 年
	電灯設備	20 年
機械	空調設備	20 年
	給水設備	20～30 年
	エレベーター	30 年

※資料：建築物のライフサイクルコスト（一般財団法人 建築保全センター）参照

第2項 長寿命化の判定基準

建築物は、構造躯体の健全性が確保されてはじめて長期間使用することができますが、施工方法やその後の使用状況、また立地環境により使用できる年数が異なります。このため長寿命化の可否を判断するためには、建物ごとに構造躯体の健全性を評価する必要があります。

耐震診断を実施済みの建物については、既存の調査資料を基とします。耐震診断による調査が行われていない建物については、必要に応じ、調査を実施します。

新耐震基準の建物については、試算上、長寿命化可能と判定しますが、長寿命化改修を行う場合は、表 2-4 に示す構造躯体の健全性の評価を実施します。

表 2-4. 構造躯体の健全性評価

1) 圧縮強度（数値が大きいほど強い）
標準的なコンクリートの圧縮強度が、 13.5N/mm^2 未満では十分な強度とはいえ改修に適さないため、 13.5N/mm^2 以上を「長寿命化が可能」と判断する。
2) 中性化の深さ（数値が小さいほど健全）
大気中の二酸化炭素がコンクリートに侵入し中性化が内部の鉄筋まで進行すると、鉄筋の腐食によりコンクリートと鉄筋の一体性が失われ、建物が本来の力を発揮できないため、長期間の使用に支障をきたすおそれがある。このため中性化の深さ（平均値）が、最低限のかぶり厚さ（コンクリート表面から鉄筋までの厚さ）である 30mm に達していない場合を「長寿命化が可能」と判断する。
3) 中性化の進行速度（数値が小さいほど健全）
中性化の現象は、築年数の経過とともに徐々に進行するが、コンクリート表面仕上材の種類やコンクリートの品質によっても中性化の進行が早くなり劣化が進む。このため、築年数から中性化の進行速度の理論値を算定、調査結果と比較し、理論値より進行が進んでいなければ「長寿命化が可能」と判断する。

第3項 改修周期の設定

高度成長期に建設された多くの公共建築物は、建設後の維持管理の計画とその予算を計画的に計上しなかったため、実際に老朽化が著しく進んでから莫大な維持管理費用を投じる事後保全型の管理を行ってきました。

今後は、「表 2-3. 部位別改修周期」に示す部位別の標準耐用年数を基本として改修を行います。

鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造の場合は、建設後、約 20 年で機能回復のための大規模改修を行い、耐用年数の中間期となる約 40 年で機能向上のための長寿命化改修を行います。その後、約 60 年で再び大規模改修を行い、目標耐用年数の約 80 年で建物の建替えを行います。

図 2-1. 事後保全型（従来型）の改修・建替えのイメージ

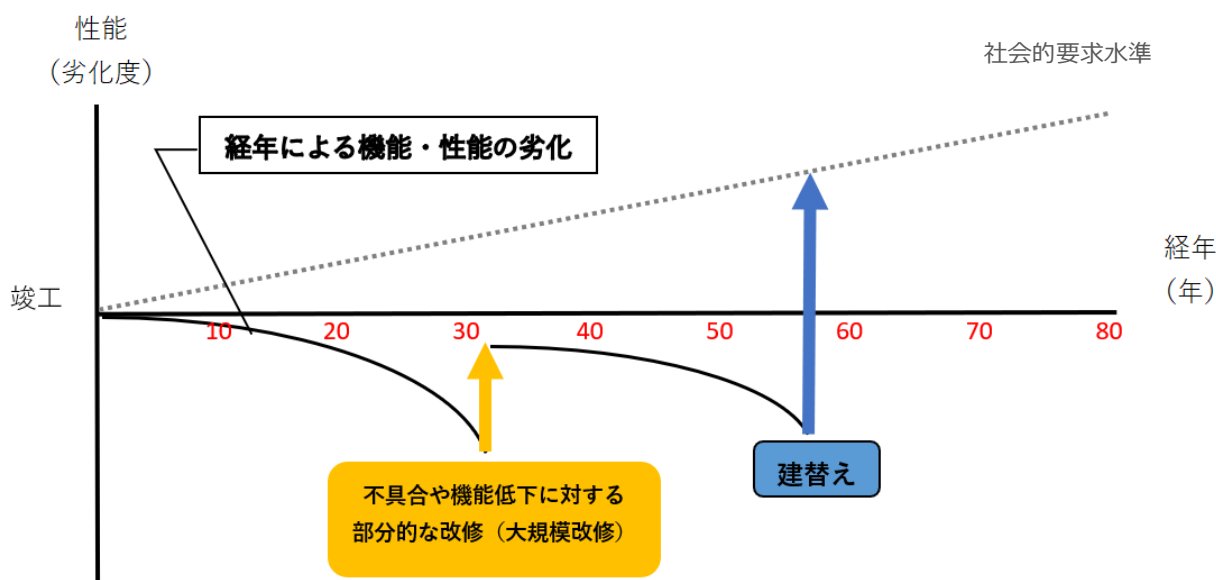


図 2-2. 予防保全型の改修・建替えのイメージ

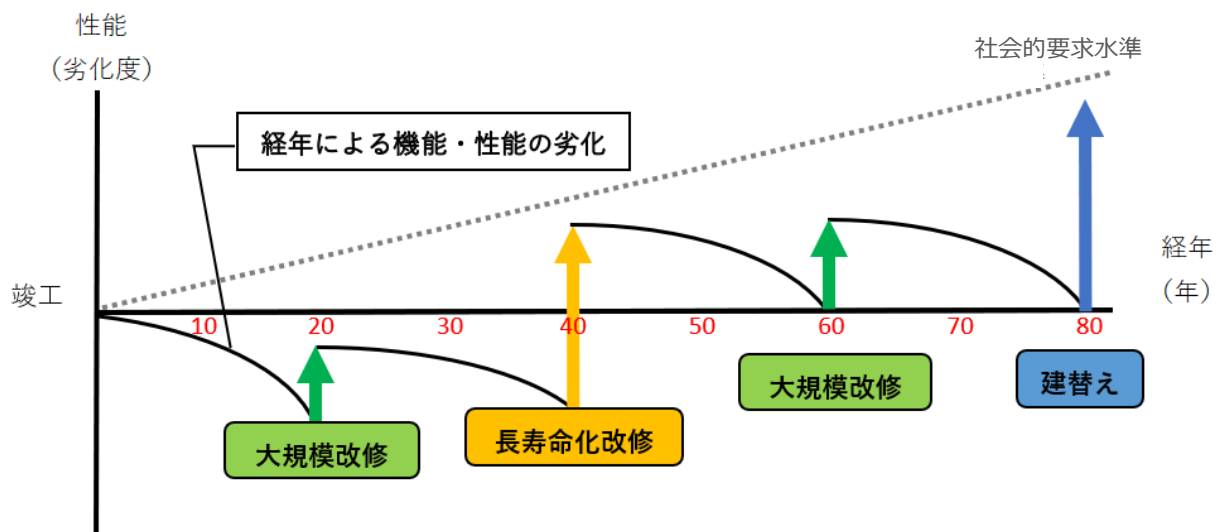


表 2-5. 予防保全型の改修工事内容

大規模改修	長寿命化改修	
経年劣化による損耗、機能低下に対する機能回復工事	経年劣化による機能回復工事と、社会的要求に対応するための機能向上工事	
・屋上防水改修 ・外壁改修 ・内装改修 ・建具改修 ・電気設備改修 ・機械設備改修 ・劣化の著しい部位の修繕 ・故障、不具合修繕 等	・屋上防水改修 ・外壁改修 ・内装改修 ・建具改修 ・電気設備改修 ・機械設備改修 ・劣化の著しい部位の修繕 ・故障、不具合修繕 等	・コンクリート中性化対策 ・鉄筋の腐食対策 ・バリアフリー改修 ・外壁、屋上の断熱化改修 ・省エネルギー機器への更新

※「表 2-3. 部位別改修周期」に示す部位別の更新周期を基本として改修を実施。

第3節 対策の優先順位の考え方

予防保全型の改修周期を基に、劣化状況の評価指標である健全度を考慮して、改修等の対策の優先順位を検討します。

健全度は、各建物の5つの部位について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標です。健全度40点未満の場合に、優先的に長寿命化改修等の必要な対策を講じます。

また、健全度の点数に関わらず、C、D評価の部位は、修繕・改修が必要とし、D評価の部位は、5年以内に部位修繕を実施し、C評価の部位は、10年以内に部位修繕を実施します。

(ただし、建替え、長寿命化改修、大規模改修を部位修繕期間内に実施する場合を除く)

健全度の計算式

$$\text{健全度} = \text{総和（部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分）} \div 60$$

※100点満点にするためにコスト配分の合計値で割っている。

※健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示す。

計算例)

	評価		評価点		配分		
1 屋根・屋上	C	→	40	×	5.1	=	204
2 外壁	D	→	10	×	17.2	=	172
3 内部仕上げ	B	→	75	×	22.4	=	1,680
4 電気設備	A	→	100	×	8	=	800
5 機械設備	C	→	40	×	7.3	=	292
計							3,148
							÷ 60
健全度							52

表 2-6. 目視による評価基準【屋根・屋上、外壁】

評価	基準	配点
A	概ね良好	100 点
B	局所、部分的に劣化が見られるが、安全上、機能上、問題なし	75 点
C	随所、広範囲に劣化が見られ、安全上、機能上、低下の兆しが見られる	40 点
D	随所、広範囲に著しい劣化が見られ、安全上、機能上、問題があり、早急に対応する必要がある	10 点

表 2-7. 経過年数による評価基準【内部仕上・電気設備・機械設備】

評価	基準（経過年数）	配点
A	20 年未満	100 点
B	20～40 年未満	75 点
C	40～50 年未満	40 点
D	50 年以上、または劣化が著しい場合	10 点

表 2-8. 部位のコスト配分

部位	コスト配分
1 屋根・屋上	5.1
2 外壁	17.2
3 内部仕上げ	22.4
4 電気設備	8.0
5 機械設備	7.3
計	60.0

※部位のコスト配分は、文部科学省の「長寿命化改良事業」の校舎の改修比率算定表を参考に、同算定表における「長寿命化」の7%分を、屋根・屋上、外壁に按分して設定しています。

第4節 個別方針案の設定

個別方針については、以下の項目等を総合的に加味して設定しています。

- ・ 総合管理計画策定時の施設分類別方針
- ・ 施設の健全度
- ・ 庁内でのヒアリング（施設担当者からの現状や課題等の確認）
- ・ 改修及び更新の周期

上記の項目を加味した上で、対象施設について、以下の9つの方針に分類分けをしています。

表 2-9. 個別方針一覧

方針	部位修繕	大規模改修	長寿命化改修	建替え
修繕対応	○	-	-	-
現状維持	○	○	-	-
建替え	○	○	-	○
長寿命化	○	○	○	○
規模縮小	○	-	-	-
統合・複合化・機能集約	○	-	-	-
民営化・譲渡	-	-	-	-
地区移管	-	-	-	-
廃止	-	-	-	-
方針	内容			
修繕対応	修繕は実施するが、大規模な改修や建替えは実施しない。			
現状維持	修繕や大規模な改修は実施するが、建替えは実施しない。			
建替え	現状のまま適切に維持し、耐用年数経過後を目安に建替える。			
長寿命化	長寿命化改修を実施し、耐久や機能を向上させ、耐用年数を超えて使用できるようにする。			
規模縮小	施設の機能を維持した状態で施設の規模を縮小する。			
統合・複合化・機能集約	施設の用途や機能を統合、多機能化する。			
民営化・譲渡	民間に売却・譲渡する。			
地区移管	地区に売却・譲渡する。			
廃止	施設用途を廃止、建物を解体する。			

第3章 個別施設方針

第1節 学校教育系施設

(1) 基本情報

施設名称	建物名称	構造	延床面積(㎡)	建築年度	耐用年数	経過年数
菊水小学校	校舎	鉄筋コンクリート	2838.00	1980	47	40
菊水小学校	体育館	鉄筋コンクリート	935.00	1996	47	24
菊水小学校	更衣室	鉄筋コンクリート	135.00	2019	47	1
菊水小学校	教室棟	鉄筋コンクリート	1274.00	2019	47	1
菊水中学校	校舎	鉄筋コンクリート	3232.00	1976	47	44
菊水中学校	揚水場	鉄筋コンクリート	21.00	1976	38	44
菊水中学校	部室	コンクリートブロック	25.00	1977	38	43
菊水中学校	体育館	鉄筋コンクリート	1254.00	1980	47	40
菊水中学校	部室	コンクリートブロック	65.00	2005	22	15
菊水中学校	体育倉庫	木造	49.69	1989	15	31
菊水中学校	屋外トイレ	鉄筋コンクリート	30.00	1981	38	39
菊水中学校	プール付属室	鉄筋コンクリート	95.60	2018	47	2
三加和小学校	校舎	木造	1298.31	2013	22	7
三加和小学校	体育館	木造	840.39	2013	22	7
三加和小学校	倉庫	鉄骨造	99.60	1998	31	22
三加和小学校	プール付属室	鉄筋コンクリート	82.81	2014	47	6
三加和中学校	校舎	鉄筋コンクリート	4112.00	1998	47	22
三加和中学校	プール更衣室	鉄骨造	100.00	1975	34	45
三加和中学校	屋外トイレ	鉄筋コンクリート	33.17	1998	38	22
三加和中学校	柔剣道場	鉄骨造	412.00	1991	34	29
三加和中学校	消火ポンプ室	コンクリートブロック	9.92	1998	34	22
三加和中学校	プロパンガスボンベ庫	コンクリートブロック	8.72	1998	34	22
三加和中学校	体育館	木造	1138.00	2005	22	15
三加和中学校	部室	木造	69.56	2012	22	8
三加和中学校	体育倉庫	木造	81.85	2012	15	8
学校給食菊水共同調理場	給食室(棟)	鉄筋コンクリート	340.00	1977	41	43
学校給食三加和共同調理場	調理室	鉄筋コンクリート	183.50	1998	41	22
学校給食三加和共同調理場	専用講堂	鉄筋コンクリート	234.00	1998	41	22

※経過年数は2020年現在

(2) 劣化状況調査結果

施設名称	建物名称	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度
菊水小学校	校舎	A	A	A	A	A	100
菊水小学校	体育館	B	B	B	B	B	75
菊水小学校	更衣室	A	A	A	A	A	100
菊水小学校	教室棟	A	A	A	A	A	100
菊水中学校	校舎	A	A	A	A	A	100
菊水中学校	揚水場	B	B	C	C	C	53
菊水中学校	部室	B	C	C	C	C	42
菊水中学校	体育館	C	C	B	B	B	62
菊水中学校	部室	B	A	A	A	A	97
菊水中学校	体育倉庫	B	B	B	B	B	75
菊水中学校	屋外トイレ	A	B	C	C	C	55
菊水中学校	プール付属室	A	A	A	A	A	100
三加和小学校	校舎	A	A	A	A	A	100
三加和小学校	体育館	A	B	A	A	A	92
三加和小学校	倉庫	A	A	B	B	B	84
三加和小学校	プール付属室	A	A	A	A	A	100
三加和中学校	校舎	B	B	B	B	B	75
三加和中学校	プール更衣室	A	B	C	C	C	55
三加和中学校	屋外トイレ	A	B	B	B	B	77
三加和中学校	柔剣道場	A	A	B	B	B	84
三加和中学校	消火ポンプ室	A	A	B	B	B	84
三加和中学校	プロパンガス ボンベ庫	B	A	B	B	B	82
三加和中学校	体育館	B	A	A	A	A	97
三加和中学校	部室	A	A	A	A	A	100
三加和中学校	体育倉庫	A	A	A	A	A	100
学校給食菊水共同調理場	給食室（棟）	B	B	C	C	C	53
学校給食三加和共同調理場	調理室	A	B	B	B	B	77
学校給食三加和共同調理場	専用講堂	A	B	B	B	B	77

(3) 個別・基本方針

施設名称	現状	課題等	対策予定（過年度の分は実績）			個別方針
			年度	内容	費用 (千円)	
菊水小学校	日常の維持管理は、使用者及び管理人に一任している。	屋内運動場の外壁等に劣化がみられる。	2020 2026	菊水小学校として開校 防水・外壁改修（体育館）	40,000	長寿命化
菊水中学校	日常の維持管理は、使用者及び管理人に一任している。	屋内運動場の外壁改修の時期である。	2021 2022 2023 2024	高圧受変電設備更新（校舎） 空調設備（校舎） バリアフリー・空調設備（校舎） 防水・外壁改修（体育館）	1,380 5,200 160,930 100,000	長寿命化
三加和小学校	日常の維持管理は、使用者及び管理人に一任している。		2022 2026	空調設備（校舎） 照明LED化（体育館）	5,100 20,000	長寿命化
三加和中学校	日常の維持管理は、使用者及び管理人に一任している。	外壁（北側）に、劣化が見られる。	2021 2022 2023 2026 2027	高圧受変電設備更新（校舎） 電源整備（校舎） 空調設備（校舎） 外壁改修（校舎） 防水・照明LED化（体育館）	5,529 8,700 5,600 15,871 20,000 60,000	長寿命化
学校給食菊水共同調理場	日常の維持管理は、使用者に一任している。		2020	新築建替工事	357,154	長寿命化
学校給食三加和共同調理場	日常の維持管理は、使用者に一任している。	将来的には菊水共同調理場への統合も検討。				修繕対応

三加和・菊水地区の学校の統廃合により、7 小学校・1 分校が 2020 年度には 2 小学校に集約されました。菊水中学校・菊水中央小学校（菊水小学校）は築 30 年以上となっていました。2018 年度より機能や性能の現在の水準を満たすよう大規模改修を実施しています。

学校給食菊水共同調理場は耐用年数を迎え、建物の状態も劣化が進んでいたこともあり、2020 年度に建替えを実施しています。学校給食三加和共同調理場は、児童生徒数の動向や施設健全度の低下などの実情を考慮して、菊水共同調理場との統合を検討します。

稼働している施設については予防保全型の管理を行うこととし、健全度を保ちながら、耐用年数を延ばし、長寿命化を図っていくために適切な時期での改修工事等を実施していきます。また、脱炭素化の推進のため、空調設備の更新や照明の LED 化を随時実施していきます。

第2節 町民文化系施設

(1) 基本情報

施設名称	建物名称	構造	延床面積(㎡)	建築年度	耐用年数	経過年数
和水町中央公民館	中央公民館	鉄筋コンクリート	2747.06	1990	50	30
和水町三加和公民館	三加和公民館	鉄筋コンクリート	2260.12	1989	50	31
和水町三加和公民館	三加和公民館倉庫	コンクリートブロック	18.00	1978	34	42
春富集会センター	集会センター	鉄筋コンクリート	358.65	1976	47	44

※経過年数は 2020 年現在

(2) 劣化状況調査結果

施設名称	建物名称	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度
和水町中央公民館	中央公民館	A	B	B	B	B	77
和水町三加和公民館	三加和公民館	A	B	B	B	B	77
和水町三加和公民館	三加和公民館倉庫	D	A	C	C	C	54
春富集会センター	集会センター	B	B	D	C	C	41

(3) 個別・基本方針

施設名称	現状	課題等	対策予定（過年度の分は実績）			個別方針
			年度	内容	費用 (千円)	
和水町中央公民館	町直営 住民の生涯学習、文化向上及び防災の拠点として機能している。	照明器具が老朽化しているためLED化の推進を図る必要がある。 屋上空調（冷温水ポンプ）の老朽化による今後の維持管理が課題となる。	2022	空調設備	1,351	長寿命化
和水町三加和公民館	町直営 住民の生涯学習、文化向上及び防災の拠点として機能している。	施設が老朽化しているため、定期的なメンテナンスを図りながら長寿命化を図る必要がある。照明のLED化を推進する必要がある。	2020 2021	空調設備、音響設備更新 音響設備更新	8,786 3,076	長寿命化
春富集会センター	和水町商工会へ管理を委託している。 設備の修繕や消耗品の補充など維持管理に係る費用は全て町が負担している。 特定の団体等が定期的に利用されている。	耐震性能が不足しており耐震化を図る必要がある。空調設備も設置から数十年が経過しており、いつ故障してもおかしくない状況である。設備等に係る要望は特になし。	2024	耐用年数経過後2023年度を目途に廃止	23,045	廃止

和水町中央公民館と三加和公民館については今後も適切な維持管理により使用していきませんが、同時期に建築されたこともあり、更新時期には人口やニーズ等に適した手段を検討することとします。特に三加和公民館は、和水町役場三加和総合支所が老朽化していることから、支所機能を集約した複合化も視野に検討します。

春富集会センターは、耐震性の不足や稼働率が低下しているため、耐用年数の満了（2023年度）を目途に用途を廃止し、旧春富小学校の校舎及び体育館へ機能移転を検討していきます。

第3節 社会教育系施設

(1) 基本情報

施設名称	建物名称	構造	延床面積(㎡)	建築年度	耐用年数	経過年数
金栗生家	主屋	木造	338.70	不明	22	不明
金栗生家	納屋	木造	111.27	不明	15	不明
金栗生家	屋外トイレ	軽量鉄骨造	7.92	2020	24	0
和水町みかわ手漉き和紙の館	みかわ手漉き和紙の館	鉄骨造	113.72	1997	31	23
歴史民俗資料館	歴史民俗資料館	鉄筋コンクリート	239.00	1977	50	43
和水町多目的広場公衆トイレ	公衆トイレ	木造	54.90	1990	15	30

※経過年数は2020年現在

(2) 劣化状況調査結果

施設名称	建物名称	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度
金栗生家	主屋	B	C	C	C	C	42
金栗生家	納屋	B	B	C	C	C	53
金栗生家	屋外トイレ	—	—	—	—	—	—
和水町みかわ手漉き和紙の館	みかわ手漉き和紙の館	A	B	B	B	B	77
歴史民俗資料館	歴史民俗資料館	B	D	C	C	C	34
和水町多目的広場公衆トイレ	公衆トイレ	A	B	B	B	B	77

(3) 個別・基本方針

施設名称	現状	課題等	対策予定（過年度の分は実績）			個別方針
			年度	内容	費用 (千円)	
金栗生家	町直営 日本人最初のオリンピック選手「金栗四三」の顕彰施設として、多くの方々に親しまれている状況である。	ありのままの現存施設を適切に管理して長く利活用できるか。	2020	トイレ整備（屋外トイレ）	15,678	修繕対応
			2021	大規模修繕・床下等（主屋）	11,133	
				駐車場整備	3,984	
			2022	改修設計（主屋）	3,243	
			2023	屋根改修等（主屋）	41,834	
			2024	駐車場整備	10,000	
和水町みかわ手漉き和紙の館	町直営 伝統工芸の手すき和紙の保存伝承施設として機能している。					修繕対応
歴史民俗資料館	町直営 劣化が進んでおり、更新等の検討時期にある。現在、国宝レプリカや町内の遺跡出土品を展示して無料公開している。	国指定史跡である江田船山古墳の関連施設として必要な施設であるが、更新費用や維持管理面に課題がある。	2024	他の既存施設へ機能移転	5,000	統合・複合化・機能集約
			2025	アスベスト調査	3,300	
			2026	解体実施設計	3,300	
			2027	解体工事	44,000	
和水町多目的広場公衆トイレ	定期的にメンテナンスを図る必要がある	定期的なメンテナンスを図り維持管理に努めたい。イベントでの利用も多いため、便器の洋式化・手洗い器の自動水栓化を図り利便性を図る方針である。	2022	トイレ洋式化工事	4,848	修繕対応

金栗生家は、施設の特徴を生かすため、大規模改修や建替えではなく、適切に維持管理しながら、修繕が必要な場合は個別に対処していきます。

みかわ手漉き和紙の館及び多目的広場公衆トイレは健全な状況にあり、引き続き適切に管理しながら修繕等を行っていきます。

歴史民俗資料館は、劣化が深刻化している状況であるため、機能移転を検討しながら、既存の施設については耐用年数の満了（2027年度）を目途に取り壊しを行います。

第4節 スポーツ施設

（1）基本情報

施設名称	建物名称	構造	延床面積(㎡)	建築年度	耐用年数	経過年数
和水町体育館	体育館	鉄筋コンクリート	3185.57	1987	47	33
和水町総合グラウンド	農村広場管理棟	木造	118.00	1976	24	44
和水町総合グラウンド	総合グラウンドトイレ	コンクリートブロック	50.00	1997	34	23
和水町春富グラウンド	春富グラウンド倉庫兼トイレ	木造	15.00	1981	15	39
和水町三加和グラウンド	三加和グラウンドトイレ	コンクリートブロック	19.46	1977	34	43
和水町三加和グラウンド	三加和グラウンド倉庫兼トイレ	木造	70.00	2003	15	17
和水町弓道場	弓道場	鉄骨造	346.94	1988	34	32
和水町スカイドーム2000	スカイドーム2000	鉄筋コンクリート	3329.06	1999	47	21

※経過年数は2020年現在

（2）劣化状況調査結果

施設名称	建物名称	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度
和水町体育館	体育館	A	C	C	B	C	49
和水町総合グラウンド	農村広場管理棟	C	C	C	C	C	40
和水町総合グラウンド	総合グラウンドトイレ	B	C	B	B	B	64
和水町春富グラウンド	春富グラウンド倉庫兼トイレ	C	B	B	B	B	72
和水町三加和グラウンド	三加和グラウンドトイレ	B	C	C	C	C	42
和水町三加和グラウンド	三加和グラウンド倉庫兼トイレ	A	A	A	A	A	100
和水町弓道場	弓道場	C	B	B	B	B	72
和水町スカイドーム2000	スカイドーム2000	B	B	B	B	B	75

(3) 個別・基本方針

施設名称	現状	課題等	対策予定（過年度の分は実績）			個別方針
			年度	内容	費用 (千円)	
和水町体育館	町直営 住民の社会体育の拠点として機能している。	2階床は、現在劣化が進行し、使用中止状態である。音響は老朽化により音質状態が良くない。水銀灯照明のLED化を推進する必要がある。2階床の改修が必要である。	2022 2023	音響設備改修 発電設備改修	1,430 8,228	現状維持
和水町総合グラウンド	町直営 住民の社会体育の拠点として機能している。	林地開発連絡調整を完了する必要がある。 近隣県からのジュニアリーグの試合会場として利用されている。また、グラウンドゴルフ、陸上、サッカー等の競技場所として多目的によく利用されている。	2020 2023 2028	グラウンド拡張工事 ジョギングコース外灯整備 公衆トイレ新設 建替え(管理棟)	250,000 19,236 35,808 21,240	建替え
和水町春富グラウンド	町直営 稼働率が悪い。	稼働率の向上	2025	5年後を目途に廃止	210	廃止
和水町三加和グラウンド	町直営 住民の社会体育の拠点として機能している。	水はけが悪い。				修繕対応
和水町弓道場	町直営 住民の弓道及び四半的の競技場として機能している。	1箇所雨漏り確認している。				修繕対応
和水町スカイドーム2000	町直営 住民の社会体育の拠点として機能している。		2023	空調設備	226,675	現状維持

和水町体育館は築30年を超え、建物の健全度は低下しています。

和水町総合グラウンドは2020年度よりグラウンドの拡張工事を実施し、2030年までに管理棟やトイレ、附属設備、第2グラウンドの整備を行います。春富グラウンドでは稼働率の向上が課題となっており、利用廃止・売却と併せて(旧)春富小学校グラウンドへの機能移転を検討します。各グラウンドに設置されたトイレや倉庫等は適切に管理しながら修繕等が必要な場合には個別に検討していきます。

和水町スカイドーム2000については、2023年度にアリーナの空調設備の整備を行います。

その他の施設についても随時修繕や維持管理を行いながら、稼働率の向上を図る施設運用を行ってきます。耐用年数を迎える時期には人口や住民ニーズに応じた施設の在り方を見直すこととします。

第5節 レクリエーション・観光施設

(1) 基本情報

施設名称	建物名称	構造	延床面積(㎡)	建築年度	耐用年数	経過年数
肥後民家村	郷土文化伝承館	木造	258.00	2006	15	14
肥後民家村	布施家	木造	488.00	不明	15	不明
肥後民家村	布施家倉	木造	73.00	不明	15	不明
肥後民家村	木工館	木造	225.00	1991	15	29
肥後民家村	対馬石屋根	木造	16.00	1981	15	39
肥後民家村	公衆トイレ	木造	54.14	1991	15	29
肥後民家村	茶屋ゲート	木造	108.00	1991	15	29
肥後民家村	水車小屋	木造	49.00	1991	17	29
肥後民家村	中原家蔵	木造	85.00	1990	15	30
肥後民家村	陶芸工房	木造	34.00	1991	15	29
肥後民家村	陶芸館	木造	20.00	1991	15	29
肥後民家村	緒方家	木造	98.00	不明	15	不明
肥後民家村	山野家	木造	143.00	不明	15	不明
肥後民家村	河野家	木造	122.00	不明	15	不明
菊水ロマン館	ロマン館	鉄筋コンクリート	2083.35	1995	50	25
菊水ロマン館	水資源利用促進施設	コンクリートブロック	33.00	1995	34	25
三加和温泉 ふるさと交流センター	温泉棟	鉄筋コンクリート	618.87	1990	47	30
三加和温泉 ふるさと交流センター	休憩室	鉄筋コンクリート	82.38	1990	47	30
三加和温泉 ふるさと交流センター	休憩棟	鉄筋コンクリート	1156.95	1991	50	29
三加和温泉 ふるさと交流センター	第3源泉小屋	軽量鉄骨造	12.42	2013	24	7
三加和温泉 ふるさと交流センター	宿泊所あいあい	木造	135.48	1987	22	33
三加和温泉 ふるさと交流センター	駐車場公衆トイレ	鉄筋コンクリート	24.90	1996	38	24
緑彩館	緑彩館（物産館）	木造	401.00	1998	24	22
緑彩館	管理事務所	軽量鉄骨造	15.12	1998	30	22
緑彩館	惣菜加工場かあちゃん亭	木造	72.00	1991	24	29
和水江田川カヌー・キャンプ場	カヌー館管理棟	木造	142.00	1993	24	27
和水江田川カヌー・キャンプ場	カヌー艇庫	木造	352.00	1993	15	27

※経過年数は2020年現在

(2) 劣化状況調査結果

施設名称	建物名称	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度
肥後民家村	郷土文化伝承館	A	A	A	A	A	100
肥後民家村	布施家	D	D	D	D	B	18
肥後民家村	布施家倉	C	C	C	C	B	44
肥後民家村	木工館	B	B	B	B	B	75
肥後民家村	対馬石屋根	D	B	C	-	-	39
肥後民家村	公衆トイレ	B	C	B	B	B	64
肥後民家村	茶屋ゲート	B	C	B	B	B	64
肥後民家村	水車小屋	C	C	B	B	B	62
肥後民家村	中原家蔵	C	C	B	B	B	62
肥後民家村	陶芸工房	B	B	B	B	B	75
肥後民家村	陶芸館	B	B	B	B	B	75
肥後民家村	緒方家	C	C	C	C	B	44
肥後民家村	山野家	C	C	C	C	B	44
肥後民家村	河野家	C	C	C	C	B	44
菊水ロマン館	ロマン館	A	B	C	B	B	64
菊水ロマン館	水資源利用促進施設	B	B	B	B	B	75
三加和温泉 ふるさと交流センター	温泉棟	A	B	B	B	B	77
三加和温泉 ふるさと交流センター	休憩室	A	B	B	B	B	77
三加和温泉 ふるさと交流センター	休憩棟	A	B	B	B	B	77
三加和温泉 ふるさと交流センター	第3源泉小屋	A	A	A	A	A	100
三加和温泉 ふるさと交流センター	宿泊所あいあい	A	A	B	B	B	84
三加和温泉 ふるさと交流センター	駐車場公衆トイレ	A	A	B	B	B	84
緑彩館	緑彩館（物産館）	A	B	B	B	B	77
緑彩館	管理事務所	A	A	B	B	B	84
緑彩館	惣菜加工場かあちゃん亭	B	B	B	B	B	75
和水江田川カヌー・キャンプ場	カヌー館管理棟	B	B	B	B	B	75
和水江田川カヌー・キャンプ場	カヌー艇庫	B	A	B	B	B	82

(3) 個別・基本方針

施設名称	現状	課題等	対策予定（過年度の分は実績）			個別方針
			年度	内容	費用 (千円)	
肥後民家村	町が維持管理を行っている。 各工房もイベント等を行い来客を増やしている。江田船山古墳公園と隣接しているので住民等の散歩や憩いの場として機能している。	古民家の屋根が茅葺屋根で維持が難しい。 夜の使用も出来るようにとの要望はある。 工房使用料の協議が必要	2020 2021 2022 2024 2026	緒方家畳張替え、山野家屋根修繕 水車小屋土間改修、木工館浄化槽修繕、山野家畳張替え 河野家屋根改修 布施家屋根改修、水車小屋修繕 山野家屋根改修・緒方家屋根改修 緒方家壁修繕	999 555 8,228 8,500 12,200	修繕対応
菊水ロマン館	指定管理 物産館・温泉施設（令和4年2月から休止中。復旧未定）・レストラン	維持管理に費用がかかる。 温泉施設の復旧を含めた施設機能の見直しが必要。				現状維持
三加和温泉 ふるさと交流センター	指定管理 温泉施設・レストラン（コロナ禍により休止中）	維持管理に費用がかかる。	2019 2020 2021 2022 2023 2024	部位修繕（内部設備） 温泉棟温泉設備・休憩棟空調更新 温泉棟温泉設備・給湯設備更新 休憩棟給排水設備更新 温泉棟空調設備・給湯設備更新 受水槽タンク更新 重油タンク地上化	2,000 8,817 6,941 14,503 43,599 10,000	現状維持
緑彩館	指定管理 物産館	維持管理に費用がかかる。				現状維持
和水江田川カヌー・キャンプ場	指定管理 キャンプ場受付・カフェ・カヌー艇庫等	維持管理に費用がかかる。 河川に土砂が堆積するため、カヌーが出来ない時期がある。カヌーの買い替えが必要。	2020	部位修繕（内部設備）	200	修繕対応

肥後民家村は工房として貸付を行っていますが、茅葺屋根の維持が困難であるとともに屋根修繕（葺き替え）の定期的な費用がかかるため、肥後民家村のあり方を再検討し、維持管理コストの見直しを行っていきます。

菊水ロマン館・三加和温泉ふるさと交流センター・緑彩館・和水江田川カヌー・キャンプ場は現在、指定管理委託を行っていますが、設備更新も含め、維持管理に費用がかかっています。これらの施設については、機能を維持しながら民間への売却を検討していきます。

第6節 産業系施設

(1) 基本情報

施設名称	建物名称	構造	延床面積 (㎡)	建築 年度	耐用 年数	経過 年数
菊水西排水機場	排水機場	鉄筋コンクリート	86.00	1996	38	24

※経過年数は2020年現在

(2) 劣化状況調査

施設名称	建物名称	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度
菊水西排水機場	排水機場	B	B	B	B	B	75

(3) 個別・基本方針

施設名称	現状	課題等	対策予定			個別方針
			年度	内容	費用 (千円)	
菊水西排水機場	水位センサーにより自動で排水ポンプを稼働させることにより、大雨等による浸水を防止している。電気系統の点検は、専門業者への委託による定期点検を行い、日常的な維持管理や排水ポンプ稼働時の出動には、地元任意団体への委託により対応している。故障等による非常時の連絡網は整備している。	施設設置後20年以上が経過しているため、電気設備やポンプ設備の更新時期に来ており、計画的な更新が必要である。	2021	部位修繕（電気設備）	9,000	現状維持
			2024	部位修繕（ポンプ更新）	70,000	
			2026	大規模修繕	8,600	

産業系施設は定期的にメンテナンスを実施しながら、今後も施設を維持していきませんが、電気・ポンプ設備の更新には多額の費用を要するため、計画的に更新を行っていくこととします。

第7節 子育て支援施設

(1) 基本情報

施設名称	建物名称	構造	延床面積(㎡)	建築年度	耐用年数	経過年数
神尾保育園	保育園舎	鉄骨	162.74	1985	34	35
神尾保育園	倉庫	コンクリートブロック	25.20	1986	34	34
神尾保育園	ランチルーム	木造	132.42	2004	20	16
神尾保育園	保育室	鉄骨	204.25	1985	34	35
放課後児童クラブ	放課後児童クラブ施設	鉄骨	271.90	2019	34	1

※経過年数は2020年現在

(2) 劣化状況調査結果

施設名称	建物名称	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度
神尾保育園	保育園舎	B	B	B	B	B	75
神尾保育園	倉庫	B	B	B	B	B	75
神尾保育園	ランチルーム	A	A	A	A	A	100
神尾保育園	保育室	B	B	B	B	B	75
放課後児童クラブ	放課後児童クラブ施設	A	A	A	A	A	100

(3) 個別・基本方針

施設名称	現状	課題等	対策予定（過年度の分は実績）			個別方針
			年度	内容	費用 (千円)	
神尾保育園	公立保育園として、町が維持管理をしている。	老朽化に伴うメンテナンス等手狭になり、増築を考慮。	2020 2021 2022 2029	部位修繕（内部設備） 保育のICT化、Wi-Fi環境整備 照明LED化 長寿命化改修(園舎、保育室)	1,300 604 650 39,634	長寿命化
放課後児童クラブ	業務を民間事業者へ委託して実施している。	事業に係る光熱水費等は委託先が負担し、施設の修繕が生じた場合は町負担となる。	2019	新設	85,159	長寿命化

神尾保育園は 2019 年度にトイレと保育室の床の改修工事を実施し、2020 年度にはプールの改修を実施します。耐用年数も近くなっていますが、健全度は維持できており、今後も必要な修繕を行います。

放課後児童クラブは、2020 年度から供用を開始し、民間事業者へ貸与(業務委託)により運用しています。神尾保育園を含め、子ども達の安全・安心に配慮した予防保全型の管理を行います。また、社会動向や和水町の人口推移等に応じた適切な規模を維持していきます。

第8節 保健・福祉施設

(1) 基本情報

施設名称	建物名称	構造	延床面積(㎡)	建築年度	耐用年数	経過年数
和水町保健センター	保健センター	鉄筋コンクリート	481.87	1989	50	31
和水町特別養護老人ホーム きくすい荘	さくら棟（居室棟）	鉄筋コンクリート	2176.12	1972	47	48
和水町特別養護老人ホーム きくすい荘	管理棟	鉄筋コンクリート	484.71	1972	47	48
和水町特別養護老人ホーム きくすい荘	和水町デイサービスセンター	鉄骨鉄筋コンクリート	345.45	1989	50	31
和水町特別養護老人ホーム きくすい荘	つつじ棟（居室棟）	鉄筋コンクリート	841.45	1975	47	45
和水町特別養護老人ホーム きくすい荘	もみじ棟（居室棟）	鉄筋コンクリート	845.00	1989	47	31

※経過年数は2020年現在

(2) 劣化状況調査結果

施設名称	建物名称	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度
和水町保健センター	保健センター	A	A	B	B	B	84
和水町特別養護老人ホーム きくすい荘	管理棟	D	C	C	C	C	37
和水町特別養護老人ホーム きくすい荘	和水町デイサービスセンター	B	B	C	C	C	53
和水町特別養護老人ホーム きくすい荘	さくら棟（居室棟）	C	C	C	C	C	40
和水町特別養護老人ホーム きくすい荘	つつじ棟（居室棟）	C	C	C	C	C	40
和水町特別養護老人ホーム きくすい荘	もみじ棟（居室棟）	B	B	B	B	B	75

(3) 個別・基本方針

施設名称	現状	課題等	対策予定（過年度の分は実績）			個別方針
			年度	内容	費用 (千円)	
和水町保健センター	月1回程度 清掃・確認を行っている。 年間100日程度利用されている。 利用内容は、乳幼児の健康相談、こころの健康相談事業。介護予防教室会場、各種イベントの控室等で利用されている。	天井に染みが目立つ 外壁にひびが多い 和式トイレであるため女性・高齢者や児童等での使用の不便がある。				現状維持
特別養護老人ホーム きくすい荘	施設の老朽化が進んでおり、令和3年2月の議会全員協議会にて、 ・全棟を新築とする。 ・建設地は現在地の周辺とする。 ・施設の規模は、入所80床とデイサービス20名。短期入所6名。 ・居室は多床室を中心とした混合型とする。 ことを決定。現在、建替えに向けた各種検討を行っている。	施設開設から50年を迎えているが、旧耐震基準で建設された建物であり、平成27年度に実施した耐震診断でも耐震性能を満たしていないことを確認している。 また、大規模な改修も実施してこなかったため、防水や空調、床や壁など各所の劣化も著しい。 毎年、修繕費に支出を要している状態である。	2021 2022 2023 2024 2025 2026 2027	地質調査・地形測量 用地買収 設計・地質調査 造成工事 建替え工事 解体設計・造成設計（既存施設） 解体工事（既存施設） 造成工事（既存施設跡地）	4,070 50,904 11,7000 50,000 1,587,600 20,000 180,000 50,000	建替え

保健センターは三加和公民館に設置されており、基本的には三加和公民館と同様適切な維持管理により使用していきます。

特別養護老人ホームきくすい荘は、耐震性能が不足しており著しい老朽化が見られるため、建替えに向けて早急な対応を図ります。

第9節 医療施設

(1) 基本情報

施設名称	建物名称	構造	延床面積 (㎡)	建築 年度	耐用 年数	経過 年数
和水町立病院	診療棟	鉄筋コンクリート	2419.13	1998	50	22
和水町立病院	給食棟	鉄筋コンクリート	240.00	1975	41	45
和水町立病院	病棟	鉄筋コンクリート	3380.17	1984	50	36
和水町立病院	健康管理センター	鉄筋コンクリート	489.00	1975	50	45
和水町立病院	ケアバス車庫・休憩室	鉄骨造	56.00	2008	31	12
和水町立病院	車庫	鉄骨造	78.00	2009	31	11

※経過年数は2020年現在

(2) 劣化状況調査結果

施設名称	建物名称	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度
和水町立病院	診療棟	B	B	B	B	B	75
和水町立病院	給食棟	C	C	C	C	C	40
和水町立病院	病棟	C	C	B	B	B	62
和水町立病院	健康管理センター	C	C	C	C	C	40
和水町立病院	ケアバス車庫・休憩室	B	A	A	A	A	97
和水町立病院	車庫	B	A	A	A	A	97

(3) 個別・基本方針

施設名称	現状	課題等	対策予定（過年度の分は実績）			個別方針
			年度	内容	費用 (千円)	
和水町立病院	直接管理。 病院・病棟として利用。 健康管理センターと調理室を 併設。	機器管理や空調管理等、委託 管理が多岐に渡る。	2018 ～ 2020	部位修繕（空調設備）	68,800	長寿命化
			2022	病棟トイレ改修、診療棟防火設備	4,950	
			2023	病棟スプリンクラー設計	5,578	
				病棟リハビリ室改修	2,200	
				病棟4階空調改修	3,358	
			2024	病棟スプリンクラー設置工事	110,735	

和水町立病院は1999年度に診療棟の大規模改修、2010年度には病棟の設備等の改修を行っており、建築年度に対して高い健全度となっています。2018年度から2020年度には病棟の空調工事を実施し、2022年度には病棟のトイレ改修と診療棟の防火設備更新、2024年度にはスプリンクラーの設置を予定しています。和水町立病院のうち、診療棟と病棟については長寿命化を図り、そのほかについては適切な維持管理のもと、現状の機能を可能な限り維持していくこととします。

第 10 節 行政系施設

(1) 基本情報

施設名称	建物名称	構造	延床面積(㎡)	建築年度	耐用年数	経過年数
和水町役場	役場 本庁舎	鉄筋コンクリート	3627.24	1994	50	26
和水町役場	車庫	鉄骨造	277.73	1994	31	26
和水町役場	倉庫	鉄骨造	137.25	1994	31	26
和水町役場	車庫	鉄骨造	71.47	1994	31	26
和水町役場 三加和総合支所	和水町三加和総合支所庁舎	鉄筋コンクリート	1792.04	1964	50	56
和水町役場 三加和総合支所	ボイラー室	コンクリートブロック	10.58	1981	34	39
和水町役場 三加和総合支所	冷暖房室	コンクリートブロック	18.80	1970	34	50
和水町役場 三加和総合支所	車庫	鉄骨造	71.40	1970	31	50
和水町役場 三加和総合支所	機械保管倉庫	鉄骨造	62.48	1970	31	50
和水町役場 三加和総合支所	書庫	鉄骨造	106.19	1989	31	31
和水町役場 三加和総合支所	車庫	鉄骨造	133.32	1992	31	28
和水町役場 三加和総合支所	石鹸プラント	木造	25.51	1995	15	25
和水町役場 三加和総合支所	役場支所横 水防倉庫	鉄骨造	22.31	1989	31	31
和水町ふれあい会館	ふれあい会館	鉄骨鉄筋コンクリート	1113.51	1995	50	25

※経過年数は 2020 年現在

(2) 劣化状況調査結果

施設名称	建物名称	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度
和水町役場	役場 本庁舎	B	B	B	B	B	75
和水町役場	車庫	B	B	B	B	B	75
和水町役場	倉庫	B	B	B	B	B	75
和水町役場	車庫	B	C	B	B	B	64
和水町役場 三加和総合支所	和水町三加和総合支所庁舎	B	B	C	C	C	53
和水町役場 三加和総合支所	ボイラー室	B	B	B	B	B	75
和水町役場 三加和総合支所	冷暖房室	B	B	C	C	C	53
和水町役場 三加和総合支所	車庫	B	B	C	C	C	53
和水町役場 三加和総合支所	機械保管倉庫	B	B	C	C	C	53
和水町役場 三加和総合支所	書庫	B	B	B	B	B	75
和水町役場 三加和総合支所	車庫	B	B	B	B	B	75
和水町役場 三加和総合支所	石鹸プラント	B	B	B	B	B	75
和水町役場 三加和総合支所	役場支所横 水防倉庫	B	B	B	B	B	75
和水町ふれあい会館	ふれあい会館	C	B	C	B	B	58

(3) 個別・基本方針

施設名称	現状	課題等	対策予定（過年度の分は実績）			個別方針
			年度	内容	費用 (千円)	
和水町役場 本庁	直接管理。町の中核施設であり、定期的なメンテナンスを行いながら長寿命化を図る必要がある。	照明設備に関しては9割程度LED化に更新。非常灯対応の照明が未であるため、今後LED化を図っていく。 カーペットの張替え時期を迎えており、計画的に順次実施しなければならない。 地震の影響で庁舎の随所にクラックがあるが、調査の結果、致命的なものではない。しかし、屋根部分については老朽化も重なり、雨漏れが懸念されることから、防水工事を実施していく。	2020 ～ 2022	照明LED化	9,000	長寿命化
			2022	空調設備改修	146,905	
			2022 ～ 2023	屋根防水改修	9,291	
			2024	照明更新（議場）	6,270	
和水町役場 三加和総合支所	総合支所としての機能の他、災害発生時の職員詰所、選挙における期日前投票所等その役割は多岐に渡っている。	老朽化が顕著であり、耐震性能も不足していると思われるため、支所として維持するのであれば耐震改修が必須である。				統合・複合化・機能集約
和水町ふれあい会館	町直営 稼働率が悪い。震災被害により使用中止状態となっている。	震災被害がまだ復旧できていない。雨樋を修理する必要がある。	2021	倉庫へ機能転換		修繕対応 (用途変更)

和水町役場は2020年度より照明のLED化、2022年度に空調設備の改修を実施しています。予防保全的な修繕を施し、長寿命化を図りつつ、ランニングコストの見直しを検討することとします。

三加和総合支所は耐用年数が超過していますが、主要な建物の健全度は維持できており、今後も適切な維持管理に努めます。ただし、耐震性能が不足しているため、今後使用していくためには改修が必須となることから、行政改革の検討を踏まえ、隣接する三加和公民館への支所機能の移転も検討します。

和水町ふれあい会館は、スポーツ施設として活用されてきましたが、震災の影響により建物の健全度が低下したため、2021年度から倉庫として用途変更して活用しています。

第11節 供給処理施設

(1) 基本情報

施設名称	建物名称	構造	延床面積 (㎡)	建築 年度	耐用 年数	経過 年数
馬場地区簡易水道施設	管理棟等	鉄筋コンクリート	49.50	1990	50	30
東郷地区簡易水道施設	管理棟等	鉄筋コンクリート	33.00	1994	50	26
大藤地区簡易水道施設	管理棟等	鉄筋コンクリート	49.50	1993	50	27

※経過年数は2020年現在

(2) 劣化状況調査結果

施設名称	建物名称	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度
馬場地区簡易水道施設	管理棟等	C	B	B	B	B	72
東郷地区簡易水道施設	管理棟等	B	B	B	B	B	75
大藤地区簡易水道施設	管理棟等	C	B	C	B	B	58

(3) 個別・基本方針

施設名称	現状	課題等	対策予定（過年度の分は実績）			個別方針
			年度	内容	費用 (千円)	
馬場地区簡易水道施設	民間へ維持管理業務を委託している。	機器及びポンプの老朽化等による修繕も必要となるため計画的な改修や、井戸のメンテナンス等が必要となる。 近年、宅地造成等により新築住宅が増加しているため、今後も増え続けるのであれば、水量確保が必要となり、新設取水井戸や配水池増設が必要となる。	2026	部位修繕（外壁塗装）	5,000	長寿命化
東郷地区簡易水道施設	民間へ維持管理業務を委託している。	機器及びポンプの老朽化等による修繕も必要となるため計画的な改修や、井戸のメンテナンス等が必要となる。 自家用井戸使用世帯が多く、加入者数が伸びないため、井戸からの切替等の促進が必要。また、東郷地区については給水人口も減少しつつあるためダウンサイジングも検討していく必要がある。	2021	部位修繕（屋根塗装）	3,000	長寿命化
大藤地区簡易水道施設	民間へ維持管理業務を委託している。	機器及びポンプの老朽化等による修繕も必要となるため計画的な改修や、井戸のメンテナンス等が必要となる。 近年、宅地造成等により新築住宅が増加しているが、アパートからの転居等により給水人口の変動が少ないため、節水等による料金収入の減少等に今後対応していく必要がある。	2020 2027	屋根防水 部位修繕（外壁塗装）	3,000 7,000	長寿命化

簡易水道施設の建物については適切な管理を今後も継続していきます。建物内部の機器及びポンプ等の維持管理に大きく費用がかかることから、計画的な更新に努めます。

第 12 節 下水道施設

(1) 基本情報

施設名称	建物名称	構造	延床面積 (㎡)	建築 年度	耐用 年数	経過 年数
菊水浄化センター	管理棟	鉄筋コンクリート	239.00	2004	50	16
菊水浄化センター	汚泥棟	鉄筋コンクリート	152.00	2004	38	16

※経過年数は 2020 年現在

(2) 劣化状況調査結果

施設名称	建物名称	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度
菊水浄化センター	管理棟	B	B	A	A	A	90
菊水浄化センター	汚泥棟	B	B	A	A	A	90

(3) 個別・基本方針

施設名称	現状	課題等	対策予定			個別方針
			年度	内容	費用 (千円)	
菊水浄化センター	民間へ維持管理業務を委託している。 下水処理場としての使用	今後、老朽化に伴う補修等を適切に行っていくかなくてはならない 下水道区域での非接続世帯への下水道接続啓発				長寿命化

現在のところ、菊水浄化センターは目立つ老朽箇所はありませんが、今後の必要な修繕には個別に対応していくこととします。ただし、前節の供給処理施設と同様、処理設備等の維持管理に大きく費用がかかることから、計画的な更新に努めます。

第 13 節 公園

(1) 基本情報

施設名称	建物名称	構造	延床面積 (㎡)	建築 年度	耐用 年数	経過 年数
江田船山古墳	肥後古代の森トイレ	鉄筋コンクリート	53.95	2010	38	10

※経過年数は 2020 年現在

(2) 劣化状況調査結果

施設名称	建物名称	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度
江田船山古墳	肥後古代の森トイレ	A	A	A	A	A	100

(3) 個別・基本方針

施設名称	現状	課題等	対策予定			個別方針
			年度	内容	費用 (千円)	
江田船山古墳	史跡管理は町直営だが、県（装飾古墳館）が公園管理（草刈等）をしている。 国宝92点が出土し、住民の誇りとして親しまれている。					修繕対応

公園に設置された施設については、将来的な老朽化に備え、適切な管理を実施し、修繕が必要な際には個別に検討していきます。

第14節 その他

(1) 基本情報

施設名称	建物名称	構造	延床面積(㎡)	建築年度	耐用年数	経過年数
(旧) 緑小学校	校舎 A 棟	鉄筋コンクリート	1268.95	1982	47	38
(旧) 緑小学校	校舎 B 棟	鉄筋コンクリート	414.00	1982	47	38
(旧) 緑小学校	特殊学級	木造	36.45	1982	22	38
(旧) 緑小学校	給食棟	鉄筋コンクリート	90.00	1982	41	38
(旧) 緑小学校	会議室	軽量鉄骨造	20.00	2000	27	20
(旧) 緑小学校	体育館	鉄筋コンクリート	1044.00	2002	47	18
(旧) 緑小学校	体育倉庫・屋外トイレ	木造	45.00	2002	15	18
(旧) 緑小学校十町分校	校舎	鉄筋コンクリート	160.00	1983	47	37
(旧) 神尾小学校	校舎 A 棟	鉄筋コンクリート	1222.40	1980	47	40
(旧) 神尾小学校	校舎 B 棟	鉄筋コンクリート	490.94	1980	47	40
(旧) 神尾小学校	給食室	鉄骨造	109.00	1983	31	37
(旧) 神尾小学校	プール附属室	コンクリートﾌﾞﾛｯｸ	73.80	1993	38	27
(旧) 神尾小学校	体育館	鉄筋コンクリート	1030.00	2003	47	17
(旧) 神尾小学校	体育倉庫	木造	30.00	2003	15	17
(旧) 神尾小学校	ポンプ室	木造	7.00	1980	15	40
(旧) 春富小学校	体育倉庫	木造	32.00	1974	15	46
(旧) 春富小学校	屋外トイレ	鉄筋コンクリート	22.40	1975	38	45
(旧) 春富小学校	ポンプ室 (S42)	コンクリートﾌﾞﾛｯｸ	7.00	1967	34	53
(旧) 春富小学校	給食室	鉄筋コンクリート	90.00	1984	41	36
(旧) 春富小学校	校舎	鉄筋コンクリート	1988.00	1994	47	26
(旧) 春富小学校	体育倉庫	木造	24.00	1994	15	26
(旧) 春富小学校	体育館	鉄筋コンクリート	1044.00	2004	47	16
(旧) 春富小学校	ポンプ室 (H17)	鉄筋コンクリート	16.20	2004	38	16
(旧) 春富小学校	倉庫	木造	22.40	2004	15	16
(旧) 菊水南小学校	校舎	鉄筋コンクリート	1745.00	1982	47	38
(旧) 菊水南小学校	プール更衣室	鉄筋コンクリート	68.00	1993	47	27
(旧) 菊水南小学校	体育館	鉄筋コンクリート	696.00	1983	47	37
(旧) 菊水南小学校	揚水場	鉄筋コンクリート	47.00	1993	38	27
(旧) 菊水南小学校	体育倉庫	軽量鉄骨造	23.00	1988	24	32
(旧) 菊水東小学校	菊水東小学校	鉄筋コンクリート	1741.00	1979	47	41
(旧) 菊水東小学校	体育館	鉄筋コンクリート	717.00	1984	47	36
(旧) 菊水東小学校	倉庫	木造	43.00	1990	15	30
(旧) 菊水東小学校	プール専用付属室 (機械室等)	鉄骨造	60.00	1984	31	36
(旧) 菊水東小学校	便所	コンクリートﾌﾞﾛｯｸ	22.00	1979	34	41
(旧) 菊水西小学校	菊水西小学校 (校舎)	鉄筋コンクリート	1754.00	1983	47	37
(旧) 菊水西小学校	体育館	鉄筋コンクリート	680.00	1982	47	38
(旧) 菊水西小学校	体育倉庫	木造	26.00	1966	15	54
(旧) 菊水西小学校	プール専用付属室 (機械室等)	鉄筋コンクリート	56.00	2001	38	19
神尾教職員住宅	教職員住宅 A 棟	木造	81.54	2000	22	20
神尾教職員住宅	教職員住宅 B 棟	木造	69.56	2000	22	20
春富教職員住宅	住宅 1	木造	66.00	1972	22	48
春富教職員住宅	住宅 2	木造	80.36	1983	22	37
春富教職員住宅	住宅 3	木造	66.00	1972	22	48
町立病院 職員住宅	住宅	木造	88.40	1994	22	26
町立病院 職員住宅	住宅	木造	88.40	1994	22	26
和水町斎場	和水町斎場	鉄筋コンクリート	359.00	1982	50	38
津田住宅(旧津田駐在所)	住宅	木造	60.88	1972	22	48
津田住宅(旧津田駐在所)	物置	木造	8.22	1972	15	48
和水町福祉センター	コミュニティ棟	鉄骨鉄筋コンクリート	892.68	1995	50	25
和水町福祉センター	和水町福祉センター浴室	鉄骨鉄筋コンクリート	250.57	1995	47	25
和水町福祉センター	和水町福祉センター機械室	鉄骨鉄筋コンクリート	56.00	1995	38	25
和水町福祉センター	調理実習棟	鉄骨造	52.83	1996	31	24
ペーロン艇庫	ペーロン艇庫	木造	94.00	2009	15	11
(旧) 菊水母子健康センター	母子福祉施設	木造	124.00	1959	15	59
(旧) 菊水母子健康センター	倉庫	鉄骨造	56.00	1968	31	50

※経過年数は 2020 年現在

(2) 劣化状況調査結果

施設名称	建物名称	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度
(旧) 緑小学校	校舎 A 棟	B	B	B	B	B	75
(旧) 緑小学校	校舎 B 棟	B	B	B	B	B	75
(旧) 緑小学校	特殊学級	B	B	B	B	B	75
(旧) 緑小学校	給食棟	C	C	B	B	B	62
(旧) 緑小学校	会議室	C	C	B	B	B	62
(旧) 緑小学校	体育館	C	A	A	A	A	94
(旧) 緑小学校	体育倉庫・屋外トイレ	C	B	B	B	B	72
(旧) 緑小学校十町分校	校舎	C	C	B	B	B	62
(旧) 神尾小学校	校舎 A 棟	D	C	B	B	B	59
(旧) 神尾小学校	校舎 B 棟	B	B	B	B	B	75
(旧) 神尾小学校	給食室	B	B	B	B	B	75
(旧) 神尾小学校	プール附属室	B	B	B	B	B	75
(旧) 神尾小学校	体育館	A	B	A	A	A	92
(旧) 神尾小学校	体育倉庫	A	A	A	A	A	100
(旧) 神尾小学校	ポンプ室	B	B	C	C	C	53
(旧) 春富小学校	体育倉庫	D	D	C	C	C	28
(旧) 春富小学校	屋外トイレ	C	C	C	C	C	40
(旧) 春富小学校	ポンプ室 (S42)	C	D	C	C	C	31
(旧) 春富小学校	給食室	D	B	B	B	B	69
(旧) 春富小学校	校舎	B	B	B	B	B	75
(旧) 春富小学校	体育倉庫	B	B	B	B	B	75
(旧) 春富小学校	体育館	A	B	A	A	A	92
(旧) 春富小学校	ポンプ室 (H17)	B	B	A	A	A	90
(旧) 春富小学校	倉庫	A	B	A	A	A	92
(旧) 菊水南小学校	校舎	C	B	B	B	B	72
(旧) 菊水南小学校	プール更衣室	A	B	B	B	B	77
(旧) 菊水南小学校	体育館	A	B	B	B	B	77
(旧) 菊水南小学校	揚水場	B	B	B	B	B	75
(旧) 菊水南小学校	体育倉庫	A	B	B	B	B	77
(旧) 菊水東小学校	菊水東小学校	B	C	B	B	B	64
(旧) 菊水東小学校	体育館	B	B	B	B	B	75
(旧) 菊水東小学校	倉庫	B	B	B	B	B	75
(旧) 菊水東小学校	プール専用付属室（機械室等）	A	A	B	B	B	84
(旧) 菊水東小学校	便所	B	B	B	B	B	75
(旧) 菊水西小学校	菊水西小学校（校舎）	B	B	B	B	B	75
(旧) 菊水西小学校	体育館	C	C	B	B	B	62
(旧) 菊水西小学校	体育倉庫	A	A	B	B	B	84
(旧) 菊水西小学校	プール専用付属室（機械室等）	A	B	A	A	A	92
神尾教職員住宅	教職員住宅 A 棟	A	A	B	B	B	84
神尾教職員住宅	教職員住宅 B 棟	A	A	B	B	B	84
春富教職員住宅	住宅 1	C	C	C	C	C	40
春富教職員住宅	住宅 2	C	C	B	B	B	62
春富教職員住宅	住宅 3	D	D	D	D	D	10
町立病院 職員住宅	住宅	C	B	B	B	B	72
町立病院 職員住宅	住宅	C	B	B	B	B	72
和水町斎場	和水町斎場	B	B	A	B	B	84
津田住宅(旧津田駐在所)	住宅	C	C	C	C	C	40
津田住宅(旧津田駐在所)	物置	D	D	D	D	D	10
和水町福祉センター	コミュニティ棟	A	A	B	B	B	84
和水町福祉センター	和水町福祉センター浴室	A	A	B	B	B	84
和水町福祉センター	和水町福祉センター機械室	A	B	B	B	B	77
和水町福祉センター	調理実習棟	A	A	B	B	B	84
ペーロン艇庫	ペーロン艇庫	A	A	A	A	A	100
(旧) 菊水母子健康センター	母子福祉施設	C	C	D	D	D	21
(旧) 菊水母子健康センター	倉庫	C	C	D	D	D	21

(3) 個別・基本方針

施設名称	現状	課題等	対策予定（過年度の分は実績）			個別方針
			年度	内容	費用 (千円)	
(旧) 緑小学校	3社へ無償貸与を行っている。維持管理は原則借主が行うこととしているが、老朽化等による修繕は町が負担する。 校舎には空き教室が残っている。体育館は災害の避難所となっている。	町が直接管理する体育館との経費の切り分けに難がある。電気料、浄化槽、水道管理費の負担割合の算出など事務的に煩雑となっている。 3社が校舎を使用しているが、有償となると借り手がなくなることもあり得る。				民営化・譲渡
(旧) 緑小学校十町分校	1社へ無償貸与を行っている。維持管理は原則借主が行うこととしているが、老朽化等による修繕は町が負担する。貸付開始から約5年間は補修もなく、町の負担は生じていない。	比較的小規模な建物であるため課題は見当たらない。選挙時には投票所として活用している。				民営化・譲渡
(旧) 神尾小学校	年1～2回の外部の草刈り 屋内運動場を選挙の投票所として使用。	複数箇所からの雨漏りあり	2021	民間譲渡		民営化・譲渡
(旧) 春富小学校	校舎の一室を田中城ミュージアム（観光施設）として町が所管しているが、その他は未活用である。浄化槽のプロフが故障しており、修理に多額の費用が必要。維持管理にまいまいな点がある。	ミュージアムは廃校施設活用を前提とした補助金を受けており、その取扱いをどうするか、検討が必要。				民営化・譲渡
(旧) 菊水南小学校	日常の維持管理は、使用者及び管理人に一任している。	老朽化が進んでおり、今後、修繕費がかさむことが予想される。	2019 2021	閉校 民間譲渡		民営化・譲渡
(旧) 菊水東小学校	日常の維持管理は、使用者及び管理人に一任している。	老朽化が進んでおり、今後、修繕費がかさむことが予想される。	2019 2020	閉校 民間譲渡		民営化・譲渡
(旧) 菊水西小学校	日常の維持管理は、使用者及び管理人に一任している。	老朽化が進んでおり、今後、修繕費がかさむことが予想される。	2019 2020	閉校 民間譲渡		民営化・譲渡
神尾教職員住宅	定期的な点検の実施	近年、借用希望者が無く、施設の在り方を検討する必要がある。				民営化・譲渡
春富教職員住宅	定期的な点検の実施 貸与中。	老朽化が著しい。	2027	解体工事	2,973	廃止
町立病院 職員住宅	直接管理 医師の住宅として管理					修繕対応
津田住宅(旧津田駐在所)			2023 ～ 2024	アスベスト撤去・解体工事	8,198	廃止
和水町斎場	町が維持管理を行っている 火葬施設として利用されている。	老朽化が著しい。 せきすい斎苑と2021年4月統合し、廃止。	2021 2022	アスベスト撤去・解体工事設計 アスベスト撤去・解体工事	8,057 44,256	廃止
和水町福祉センター	社会福祉協議会へ指定管理者として委託している。 社会福祉事業の集いの場として機能している。	これからのメンテナンス費用（エレベーター等） この施設は、温泉機能もありながら、活用しきれていない。	2021 2022	変電所キュービクル盤基礎部分塗装 受水槽タンク修繕	204 1,300	修繕対応
ペーロン艇庫	町が維持管理を行っている。 簡易倉庫であるため、日常の維持コストは軽微である。					修繕対応
(旧) 菊水母子健康センター	劣化が激しく、現在は有効に使用されていない。	長年利用されておらず利活用できる状態ではないため、学校行事の臨時駐車場にするなど有効活用のための整備が必要である。	2022	解体工事	7,949	廃止

学校の統廃合の結果、廃校となった学校すべてを町が維持していくことは困難であるため、基本的には売却や処分を検討していきます。ただし、(旧)春富小学校体育館は投票所・避難所指定であることから、春富集会センターの老朽化を鑑み、機能を移すことを検討していきます。

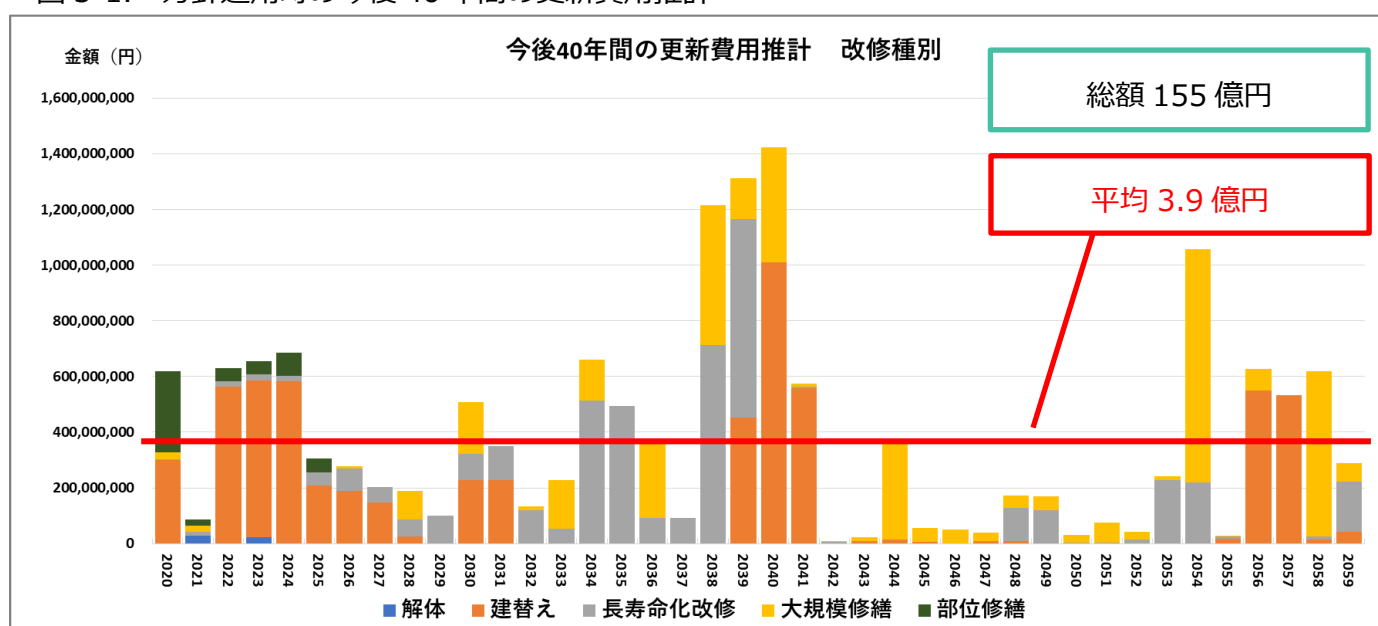
春富教職員住宅、津田住宅(旧津田駐在所)及び(旧)菊水母子健康センターは、経過年数が耐用年数を大幅に超過し、健全度も著しく低下しています。また、和水町斎場は2021年度にせきすい斎苑と統合したため用途廃止を行っています。今後、建替や改修は行わず、取り壊すことで検討します。その他の施設については、修繕が必要な場合には適宜対応し、適切な管理を努めます。

第4章 更新費用推計

第1節 今後40年間の更新費用推計

総合管理計画ではすべての公共施設を大規模改修し、現状の規模のまま建て替えを行った場合の更新費用は2014年以降の40年間で367億6千万円（年平均9億2千万円）となっていました。本計画では、2020年以降の40年間で155億4千万円（年平均3億9千万円）となり、総額212億円ほどの更新費用の削減が見込まれます。

図3-1. 方針適用時の今後40年間の更新費用推計



※公営住宅など本計画対象外の施設も含めて算定しています。

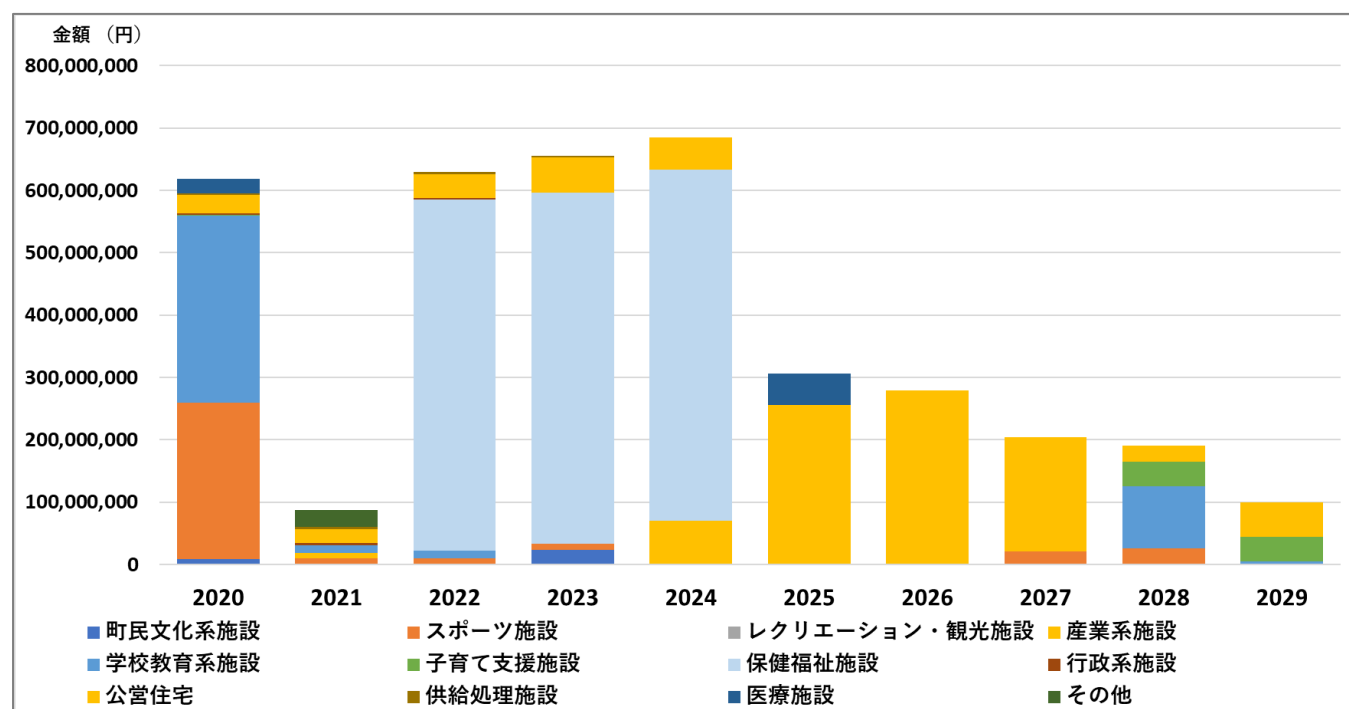
表4-1. 長寿命化型更新周期と単価

建替え		長寿命化改修		大規模改修	
更新周期	80年（50年）	改修周期	40年	実施年数	20年周期
費用	単価×延床面積	費用	建替え単価の60%×延床面積	費用	建替え単価の25%×延床面積
工事期間	2年	工事期間	2年	工事期間	1年
実施年数より古い建物の建替えを10年以内に実施		実施年数より古い建物の改修を10年以内に実施		建替え、長寿命化改修の前後10年間に重なる場合は実施しない	

第2節 計画対象期間の更新費用

方針適用時の更新費用推計結果を基に、予防保全型の維持管理方針に沿って、計画期間における長寿命化の実施計画を作成しました。計画対象期間の10年間の更新費用が均等になるように工事時期を調整し、方針適用時の今後40年間の更新費用推計結果の平均3.9億円を上限に平準化を図る必要があります。

図3-2. 計画対象期間の実施計画

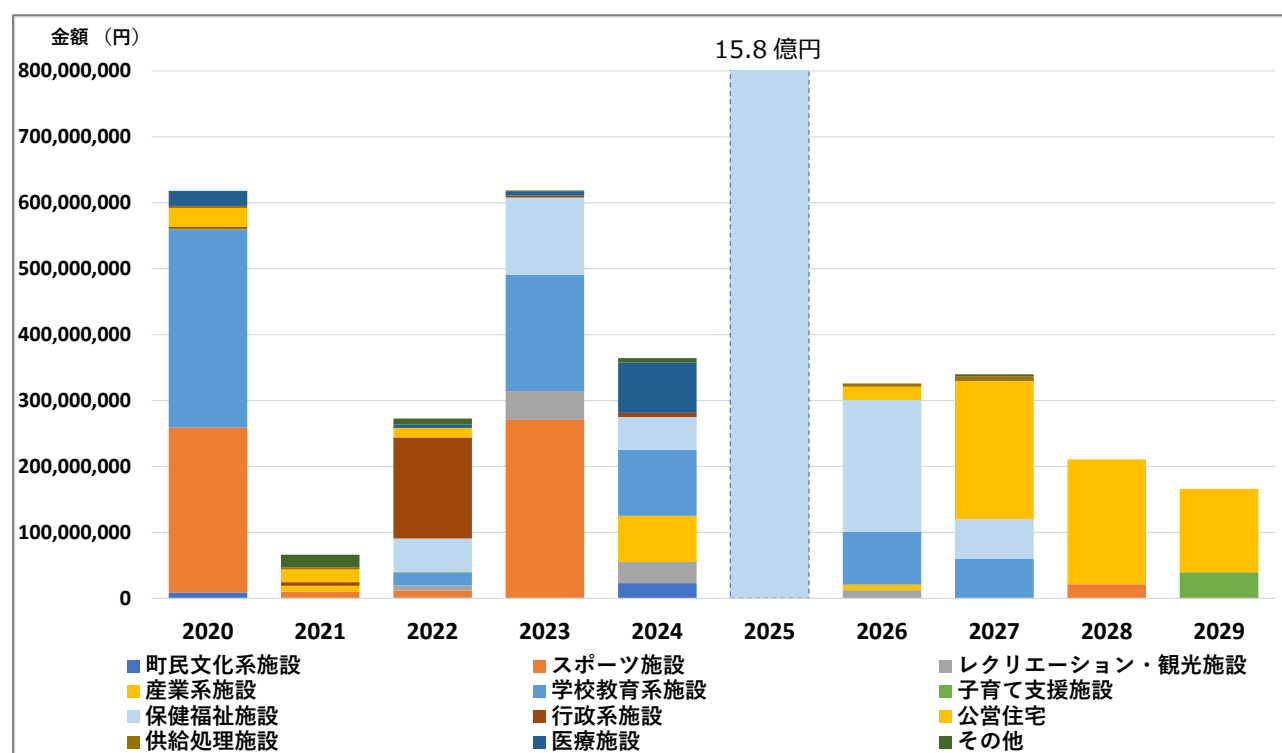


2022 年度末時点の実施計画では、特別養護老人ホームきくすい荘の建替え工事が追加されたこともあり、計画期間の実施計画は、計画策定時の 5 倍の費用に膨れ上がっています。

また、計画策定時には顕在化していなかった施設の老朽化に伴う改修や修繕、空調や照明等の設備の更新が追加されたこともあり、スポーツ施設、レクリエーション・観光施設、学校教育系施設、保健福祉施設、行政系施設等で、更新費用の見込みが大きく増加しています。

計画の精度を高めるためにも、より精緻な施設の劣化調査と更新計画の立案を検討していきます。

図 3-3. 計画対象期間の実施計画（2022 年度末時点）



第5章 計画のフォローアップ

本計画は、公共建築物（建物）の改修や建替えの優先順位を設定するものであり、「総合管理計画」および町全体の財政計画のなかで、年次および個別の事業費を精査していくとともに、事業の進捗状況、定期的・法定的な点検から得られる老朽化に関する状況・評価などの結果に加え、社会の状況(人口動向、少子化など)を踏まえた上で、10年ごとに見直しを行います。

計画の推進にあたっては、PDCA（Plan:計画の推進、Do:実行、Check:効果の評価・検証、Action:見直し）サイクルの考え方にに基づき、具体的な事業の実施と状況のフィードバック、翌年度以降の展開に向けて適宜、見直しを行うことで、長期的な社会情勢の変化に対応し、計画の確実な推進を図ります。

- | | |
|------------------------------|----------|
| ①施設の状況を把握した上で、それを踏まえた整備計画を策定 | <Plan> |
| ②計画に基づく日常的な維持管理や適切な改修を実施 | <Do> |
| ③整備による効果を検証し、整備手法の改善点などを整理 | <Check> |
| ④次期計画に反映 | <Action> |

和水町公共施設個別施設計画

令和 3 年 2 月（令和 5 年 3 月改訂）

和水町役場 総務課

〒865-0192 熊本県玉名郡和水町江田 3886

TEL : 0968-86-3111 FAX : 0968-86-4215